

# 第 17 期うきたむ学講座実行委員会次第

令和 7 年 12 月 14 日

山形県立うきたむ風土記の丘考古資料館研修室

1. 開会のあいさつ(事務局長)
2. 実行委員長あいさつ(吉田委員長)
3. 報 告  
(1)うきたむ学講座運営委員会の結果
4. 協 議  
  
(1)第 17 期うきたむ学講座の持ち方について  
①第 17 期うきたむ学講座実施計画(案)  
②第 17 期うきたむ学講座予算案について  
③運営委員・実行委員の就任依頼について  
④第 18 期以降の会の持ち方について  
(2)その他
5. 閉会のあいさつ(岩崎副委員長)

## 実行委員

委員長 吉田 歆(○)・副委員長 岩崎義信(○) 高梨善三郎(×)  
委 員 青木慶一(○)・井田秀和(×)・大内紀子(○)・蛭原一平(×)・海藤 元(×)  
・角田朋行(○)・菊地政信()・小林貴宏(×)・佐藤公保(○)・角屋由美子(×)  
・清野春樹(○)・高橋 拓(○)・高橋信博()・月山隆弘()・手塚 孝()・二宮美夫(○)  
・秦 昭繁(×)・守谷英一(○)・益田則雄(○)・渡部真治()

## 第17期うきたむ学講座運営委員会開催の結果について

令和7年11月16日(日)に運営委員会を開催し、17期となる「うきたむ学講座」の実施計画や、予算案について協議しました。

その結果、総括実行委員会に提案する実施計画をつぎのとおりとすることを決定しました。令和7年度の講座開催期日を令和8年2月1日(日)、と3月1日(日)の2回とする。

講座1回目のテーマを「古図面・古記録からみる河川の氾濫」とし

阿子島 功氏と岩崎 義信氏に講師を依頼し2つの講義をお聞きする。

講座2回目のテーマを「赤色立体図と城館関係」とし

角田 朋行氏と吉田 歓氏に講師を依頼し2つの講義をお聞きする。

※演題は11月中に決めていただき、実行委員会の案内に付す。

受講料と負担金(うきたむ風土記の丘考古資料館自主事業委員会)で講座を運営する。

運営委員と実行委員に欠員が生じたので、新たに委員の就任をお願いする。

運営委員に実行委員の角田朋行氏、高橋 拓氏、佐藤公保氏に就任していただく。

実行委員に青木敏雄、齊藤敏明、佐藤智幸氏を推薦し、実行委員会の議決後に、就任を依頼する。

総括実行委員会では以上の件について協議していただき、次年度以降の講座の持ち方についてご意見を頂く。

17期の講師依頼を各氏からお引き受けいただき、下記のようなテーマで會を持つことを実行委員会に諮ることとなった。

講座1回目のテーマを「古図面・古記録からみる河川の氾濫」とし

①「野川扇状地と最上川氾濫原の微地形と古地図・古記録」(講師：阿子島 功氏)

②「絵図と水帳からみる河川の氾濫」(講師：岩崎 義信氏)

の2つの講義をお聞きする。

講座2回目のテーマを「赤色立体図と城館関係」とし

①「赤色立体図から見る山間地の遺跡や地形 ―中世城館跡を中心に―

(講師：角田朋行氏)

②「絵図から見る米沢城―御三階をめぐって―」(講師：吉田 歓氏)

の2つの講義をお聞きする。

## 第17期うきたむ学講座予算(案)

2025. 12. 14

	費 目	予算額	前回決算額	摘 要
収入	負担金	48,000	40,093	考古資料館自主事業委員会
	受講料収入	30,000	25,200	⑥600×50名
	資料頒布	400	0	
	計	78,400	65,293	
支出	謝金	48,000	48,000	講師謝金4名分(2回開催)
	旅費	8,200	8,243	講師交通費(山形1、米沢2、南陽1)
	賃借料	7,500	6,300	施設使用料(⑥150×50名)
	通信運搬費	5,000	2,750	切手(運営委員就任依頼3、実行委員会案内4、実行委員就任依頼3、講師礼状4)チラシ送付クリックポスト代(185×7=1,295)他
	消耗品費	9,700	0	配布資料印刷経費他
	計	78,400	65,293	

### \* 内訳

①講師謝金 @ 12,000 円 × 4 人 = 48,000 円

②講師交通費 3,200円+2,000円+1,000円+2,000円 = 8,200 円

交通費支給基準(実際は発地・着地間の距離×2×37円で計算)

天童……………講師4,500円

山形・上山……………講師3,200円

長井・白鷹・小国……………講師3,000円

米沢・川西……………講師2,000円

南陽・高畠……………講師1,000円

(運営委員・実行委員については平成23年5月の総括実行委員会の決議により旅費を支給しない事となっている)

③資料代 受講しないで資料のみの場合:資料代を講師1名分200円とする

## うきたむ学講座について

### 1. 講座開設の経緯

置賜地方における原始・古代・中世・近世の歴史を広い視野から見直すと共に、置賜各地で歴史・民俗・自然等の解明および保護などに取り組んでいる団体や個人が交流し合うことを目的として平成 18 年度に開設し、令和 2 年度から新型コロナの感染拡大により、休止していたが、令和 5 年度から再開した。

運営の主体はうきたむ学講座実行委員会で、置賜各地の趣旨に賛同する方々が結成している。

### 2. 主 催 うきたむ学実行委員会

委員長：吉田 歆 副委員長：岩崎義信、高梨善三郎

委 員：・青木慶一・井田秀和・大内紀子・蛭原一平・海藤 元・角田朋行・菊地政信  
・小林貴宏・佐藤公保・角屋由美子・清野春樹・高橋 拓・高橋信博・月山隆弘・  
手塚 孝・二宮美夫・秦 昭繁・益田則雄・守谷英一・渡部眞治

### 3. 共 催 山形県立うきたむ風土記の丘考古資料館

### 4. 主 管 うきたむ学講座運営委員会

委員長：吉田 歆 副委員長：岩崎義信、高梨善三郎

委 員：・小林貴宏・菊地政信・角屋由美子・秦 昭繁・角田朋行・高橋 拓  
・佐藤公保

### 5. 講座の内容

①置賜地方の考古・歴史を中心に、時には自然・民俗におよぶ広範なものとする。

②中心の時代は原始・古代・中世に置くが、必要により近世にも範囲を広げる。

③各講座の形態は、講義・発表・パネルディスカッションとする。

### 6. 講座の持ち方 1 月・2 月・3 月の各月 1 回とする。ただし、令和 7 年度も 令和 7 年 2 月 1 日(日)・3 月 1 日(日)の 2 回開催とする。

### 7. 会 場 山形県立うきたむ風土記考古資料館研修室

### 8. 経 費

受講者 1 名につき 6 0 0 円の受講料をもって、運営経費とする。

不足分はうきたむ風土記の丘考古資料館自主事業委員会の補助金で充当する。

### 9. その他

本要項にない事項については、運営委員会の協議および主催者の判断によって決める。

## うきたむ学講座実行委員会規約

### 〔趣旨〕

第1条 置賜地方の歴史解明および歴史理解の普及を広い視野から幅広く推進するため、置賜地方の歴史等関係者および団体が相集い研修し合うことを目的とする。

### 〔名称〕

第2条 この会の名称を「うきたむ学講座実行委員会」と称する。

### 〔組織〕

第3条 趣旨に賛同し、講座を支える意思を有する実行委員で組織する。

### 〔活動〕

第4条 趣旨を達成するための「うきたむ学講座」を山形県立うきたむ風土記の丘考古資料館と共催し、かつ必要な活動を行う。

### 〔実行委員〕

第5条 実行委員は、本会の活動を代表者を通じて運営するとともに、会の活動に参加し、一般市民の参加を呼びかける。

### 〔役員〕

第6条 本会に次の役員をおく。

- (1) 実行委員長 1名
- (2) 副実行委員長 2名
- (3) 運営委員 若干名
- (4) 事務局員 若干名

### 〔機関〕

第7条 本会の運営のため、次の機関を置く。

- (1) 実行委員会(全体会) 定例会を年1回開き、方針および活動計画を決定する。
- (2) 運営委員会(役員会) 正副実行委員長・運営委員・事務局員をもって構成し、実行委員会で定められた事項に基づき会の運営を行う。
- (3) 事務局 正副実行委員長の指示に基づき実行委員会および役員会に関する事務等の協議を行う。

### 〔会計〕

第8条 本会の会計は、うきたむ学講座受講費その他の収入をもって充てる。受講費は当分の間600円とする。

### 〔事務局〕

第9条 本会の事務局は、山形県立うきたむ風土記の丘考古資料館に置く。

# うきたむ学講座実行委員名簿

No.	氏名	役職	所属等
1	青木 慶一		長井古文書研究会事務局
2	井田 秀和		元高畠町教育委員会
3	岩崎 義信	副委員長	長井市観光文化交流課長井市史編纂専門員
4	大内 紀子		白鷹町教育委員会
5	蛭原 一平		小国町教育委員会
6	海藤 元		長井市観光文化交流課
7	角田 朋行	運営委員	南陽市教育委員会社会教育課
8	小林 貴宏	運営委員	高畠町教育委員会社会教育課 うきたむ考古の会幹事
9	佐藤 公保	運営委員	米沢市教育委員会社会教育文化課
10	角屋 由美子	運営委員	稽照殿館長 米沢市上杉博物館上杉文化研究室室長
11	清野 春樹		置賜民俗学会会員
12	高梨 善三郎	副委員長	うきたむ考古の会副会長
13	高橋 拓	運営委員	地域文化資源活用工房ロフト 代表
14	高橋 信博		山形県農山漁村地域づくりプランナー
15	月山 隆弘		川西町文化財保護協会副会長
16	月山 隆弘		川西町文化財保護協会副会長
17	二宮 美夫		元高畠町文化財保護会会長
18	秦 昭繁	運営委員	考古学研究家
19	益田 則雄		小国町文化財調査員
20	守谷 英一		置賜民俗学会会長
21	吉田 欽	委員長	米沢史学会事務局長 米沢女子短期大学教授
22	渡部 眞治		徳太郎文庫長
	渋谷 孝雄	事務局	考古資料館館長

(委員名は五十音順)